

答申・施策

学校教育における指導の努力点

(1) 次の文は、「平成31～34年度学校教育の指導の努力点」(沖縄県教育委員会)の一部である。文中 $\boxed{1}$ ～ $\boxed{3}$ に語句をそれぞれ下記の語群から一つ選び、番号で答えなさい。

学校教育においては、幼児児童生徒の発達の段階を踏まえ、組織的・($\textcircled{1}$)・継続的な教育を行うことが肝要である。幼児児童生徒一人一人に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力の育成及び主体的に($\textcircled{2}$)を養うことが大切である。また、豊かな心、健やかな体の育成など、「生きる力」を育む学習活動を教育活動全体で充実させることが重要であり、自らの個性を生かし社会の変化に主体的に対応できる能力や($\textcircled{3}$)の基礎を培う必要がある。

語群 ①計画的 ②学習に取り組む態度 ③創造性

$\boxed{1}$ ① 系統的 ② 計画的 ③ 体系的 ④ 教育的 ⑤ 連続的

$\boxed{2}$ ① 生きる力 ② 学習に取り組む姿勢 ③ 学習に取り組む意欲
④ 学習に取り組む態度 ⑤ 学習に向かう力

$\boxed{3}$ ① 生涯学習 ② 創造性 ③ 確かな学力 ④ 人間力 ⑤ 資質・能力

(2) 次の文は、「平成31～34年度学校教育の指導の努力点」(沖縄県教育委員会)の一部である。文中 $\boxed{4}$ ～ $\boxed{6}$ に語句をそれぞれ下記の語群から一つ選び、番号で答えなさい。

このため、学校においては、各教科、特別の教科道徳(以下「道徳科」という)、外国語活動、総合的な学習の時間及び($\textcircled{4}$)等、教育活動全体を通じて、個に応じた指導を充実させるとともに、($\textcircled{5}$)を高める指導方法等の改善・充実を図ることで、幼児児童生徒に、($\textcircled{6}$)と向上心を育むなど、適切な教育課程の編成・実施に努める必要がある。

語群 ④特別活動 ⑤目的意識 ⑥自己肯定感

$\boxed{4}$ ① 部活動 ② 学校行事 ③ HR活動 ④ 学級活動 ⑤ 特別活動

$\boxed{5}$ ① 目的意識 ② 進路意識 ③ 課題意識 ④ 学習意欲 ⑤ 学びに向かう力

$\boxed{6}$ ① 学習意欲 ② 創造性 ③ 自己肯定感 ④ 人間力 ⑤ 自己有能感

(3) 次の文は、「平成 31～34 年度学校教育の指導の努力点」(沖縄県教育委員会)の一部である。文中 7 ～ 9 に語句をそれぞれ下記の語群から一つ選び、番号で答えなさい。

県教育委員会及び各市町村教育委員会においては、各学校が (7) を生かした特色ある教育課程を編成・実施できるよう、各学校の (8) に応じた適切な支援に努める必要がある。そこで、学校教育における充実した教育活動のために、次の「努力点」を定め、学校の (9) を通じてその達成に向けた取組を推進する。

語群 ⑦創意工夫 ⑧実状 ⑨教育活動全体

7 ① 生活実態 ② 創意工夫 ③ 郷土性 ④ 地域のよさ ⑤ 地域性

8 ① 実情 ② 実態 ③ 現状 ④ 独自性 ⑤ 特色

9 ① 組織全体 ② 総合活動 ③ 教育活動全体 ④ 教育実践 ⑤ 教育力

○ (①) の向上
○ (②) の育成
○ (③) の育成
○ (④) の高揚
○ (⑤) の確立
○ (⑥) の重視

語群 ①確かな学力 ②豊かな心 ③健やかな体 ④目的意識 ⑤基本的な生活習慣 ⑥地域の自然・歴史・文化

○ 確かな学力の向上

(4) 次の文は、「平成 31～34 年度学校教育の指導の努力点」(沖縄県教育委員会)の一部である。文中 1～3 に語句をそれぞれ下記の語群から一つ選び、番号で答えなさい。

幼児児童生徒に、基礎的・基本的な(①)を確実に習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な(②)等の能力を育み、主体的に(③)を養うことは、学校教育が担っている重要な役割である。

語群 ①知識・技能 ②思考力, 判断力, 表現力 ③学習に取り組む態度

1 ① 知識や技能 ② 基本事項 ③ 内容 ④ 知識・技能 ⑤ 学習内容

2 ① 思考力, 判断力, 表現力 ② 資質能力 ③ 問題解決力 ④ 応用力 ⑤ 活用力

3 ① 学習へ向かう態度 ② 取り組む姿勢 ③ 学習に取り組む態度
④ 学びに向かう力 ⑤ 学習に取り組む姿勢

学校においては、幼児児童生徒一人一人に夢や希望を持たせ、目的意識の高揚や(④)を向上させるために、学校での「学び」が、実生活と関連することを実感させることが重要であり、「学ぶ意義」や「(④)」の向上を図るキャリア教育の視点を踏まえた取組を推進する必要がある。日常的な授業の実施にあたっては、幼児児童生徒一人一人が「学び」を楽しみ・高める「(⑤)」の構築に努めることが重要である。そのためには、指導の過程における幼児児童生徒の変容を評価することで、学習意欲を高め、学習に向かう(⑥)や学習習慣、学び方を身に付けさせるなど、(⑦)の充実を図る必要がある。語群 ④学ぶ意欲 ⑤わかる授業 ⑥姿勢 ⑦授業改善

「学習を支える力」の育成を図るために、学校では、「(⑧)」を身に付けさせることが大切であり、家庭や地域と連携しながら「(⑨)」の確立を図るなど幼児児童生徒の学習の(⑩)を整える必要がある。

語群 ⑧学習規律 ⑨基本的な生活習慣 ⑩基盤

○ 豊かな心の育成

少子高齢化や核家族化、(①)の進展などの社会環境の急速な変化は、物質的な豊かさと相まって価値観の多様化や(②)の希薄化をもたらす一因となっている。そのため、子どもたちは、人間としての(③)など確固たる拠り所を見出すことに苦慮する状況にあることも否めない。語群 ①情報化 ②人間関係 ③在り方や生き方

(5) 次の文は、「平成 31～34 年度学校教育の指導の努力点」(沖縄県教育委員会)の一部である。文中 4 ～ 6 に語句をそれぞれ下記の語群から一つ選び、番号で答えなさい。

学校においては、命の大切さや思いやりの心、善悪の判断や公共心などの(4), 正義感や(5)を重んじる心、美しいものに感動する豊かな感性、自立心、自己抑制力、共生の心など、「(6)」を教育活動全体を通じて育成することが重要である。 語群 ④規範意識 ⑤公正・公平 ⑥豊かな心

4 ① 規律意識 ② 遵法精神 ③ 社会良識 ④ 規範意識 ⑤ 礼儀・マナー

5 ① 一体感 ② 規律 ③ 公正・公平 ④ 公正・全体性 ⑤ 公正・調和

6 ① 豊かな心 ② 豊かな人間性 ③ 心の豊かさ ④ 健全な心 ⑤ 社会力

指導に当たっては、(7)や人権教育などの取組を発達段階に応じて充実させるため、これらと各教科等の学習や体験活動、(8)などを関連付け、学校の教育活動全体を通じて、幼児児童生徒の心を豊かにするように努める必要がある。また、「当たり前のことが当たり前ができる」ことを重視して、幼児児童生徒、保護者、地域社会、学校が各々における「**凡事**」を設定・確認し、それを「(9)」する取組を推進する必要がある。 語群 ⑦道徳教育 ⑧読書活動 ⑨徹底

○ 健やかな体の育成

幼児児童生徒の健やかな体を育成するため、(1)の充実や子どもの体力の向上を図るとともに、生涯にわたって(2)な生活を自ら営んでいくための(3)の育成が重要である。 語群 ①学校体育 ②健康で安全 ③知識や態度

このため、学校においては、健康に関する現代的課題に適切に対処するために、学校保健、学校安全及び(4)を総合的にとらえ、体験的な学習の充実を図るなど、幼児児童生徒の(5)の保持増進に組織として一体的に(6)・計画的に取り組む必要がある。 語群 ④学校給食 ⑤心身の健康 ⑥意図的

(4) 次の文は、「平成 31～34 年度学校教育の指導の努力点」(沖縄県教育委員会)の一部である。文中 7 ～ 9 に語句をそれぞれ下記の語群から一つ選び、番号で答えなさい。

また、体育・スポーツ活動に関しては、幼児期における運動習慣の基盤づくりや(7)を一体としてとらえ、生涯にわたる**豊かなスポーツライフを実現するための(8 資質・能力)を育成することを目指す**。そのなかで、幼児児童生徒が自ら課題を見つけ目標を設定し、自発的・自主的な活動を通して運動やスポーツが好きになり、積極的に運動に親しむ**資質や能力**を育てる学習指導の工夫・改善を図り、運動部活動の活性化や適正化並びに(9)を図る取組を推進する必要がある。

7 ① 心身 ② 心と体 ③ 心と身体 ④ 体育とスポーツ ⑤ 運動と習慣

8 ① 資質・能力 ② 資質や能力 ③ 自律心 ④ 実践能力 ⑤ 主体性

9 ① 心の成長 ② 健康の向上 ③ 技能の向上 ④ 健全な心 ⑤ 体力の向上

○ 目的意識の高揚

目的意識の高揚は、自ら課題を見つけ、自ら学び自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力などの「(①)」を支えるために大切であり、(②)の視点においても重要である。

このため、学校においては、幼児児童生徒に目標の達成に向けて努力することの大切さを気付かせたり、その過程を振り返ったりする活動を通して、自己肯定感や(③)を育む指導に努める必要がある。 語群 ①生きる力 ②生涯学習 ③向上心

また、(④)の視点を踏まえ各教科、道徳科、(⑤)、総合的な学習の時間、特別活動において、目標や目的・ねらいの達成に向けて考えを深める指導方法等の工夫・改善を図るとともに、幼児児童生徒が課題を主体的に選択し、(⑥)を向上させることが必要である。 語群 ④キャリア教育 ⑤外国語活動 ⑥学ぶ意欲

(5) 次の文は、「平成 31～34 年度学校教育の指導の努力点」(沖縄県教育委員会)の一部である。文中 7 ～ 9 に語句をそれぞれ下記の語群から一つ選び、番号で答えなさい。

幼児児童生徒が、将来の夢や(⑦)に向かって根気強く取り組むことができるように、家庭・地域社会等と連携した豊かな体験活動(集団宿泊活動や(⑧)活動、ボランティア活動・奉仕体験活動、自然体験活動など)を計画的・組織的に実施し、(⑨)・充実感を味わわせる取組を推進する必要がある。 語群 ⑦希望 ⑧職場体験 ⑨達成感

7 ① 目標 ② 進路 ③ あこがれ ④ 使命 ⑤ 希望

8 ① 職場見学 ② 職場体験 ③ 就業体験 ④ 模擬体験 ⑤ OJT

9 ① 達成感 ② 成就感 ③ 一体感 ④ 参加意識 ⑤ 所属感

○ 基本的な生活習慣の確立

(6) 次の文は、「平成 31～34 年度学校教育の指導の努力点」(沖縄県教育委員会)の一部である。文中 1 ～ 3 に語句をそれぞれ下記の語群から一つ選び、番号で答えなさい。

幼児児童生徒が、生き生きと学校生活や(①)及び社会生活を営むためには、

生命の尊重, (②), 規則正しい生活, 規範意識, 礼儀作法等の (③) を確立させる必要がある。

語群 ①家庭生活 ②健康・安全 ③基本的な生活習慣

1 ① 地域生活 ② 集団生活 ③ 家庭生活 ④ 個人生活 ⑤ 課外活動

2 ① 生活規律 ② 健全育成 ③ 奉仕体験 ④ 健康・安全 ⑤ 危機管理

3 ① 豊かな心 ② 基本的な生活習慣 ③ 社会力 ④ 自律の心 ⑤ 統制力

特に, 幼児児童生徒の不登校や中途退学, いじめ・暴力行為, 深夜外出等の (④) は, (③) の確立と深く関わりがあり, 規則正しい (⑤) の確立のために, (⑥) の習慣化や時間のけじめ, 聞く態度を身に付けさせることが緊要である。

語群 ④問題行動 ⑤生活リズム ⑥家庭学習

このため, 学校においては, 各教科, (⑦), 外国語活動, 総合的な学習の時間, 特別活動をはじめ, 学校の (⑧) で, (③) の確立に係る適切な指導の充実に努める必要がある。

家庭・地域社会, 関係機関・団体においては各々の (⑨) を自覚するとともに, 緊密な連携のもとに, 幼児児童生徒一人一人の (③) の確立を図る取組を推進する必要がある。

語群 ⑦道徳科 ⑧教育活動全体 ⑨役割

○ 地域の自然・歴史・文化の重視

本県は, わが国の南西端に位置し, (①) 気候で豊かな自然に恵まれており, 特色ある歴史や文化が育まれてきた。この地理的・ (②) 的特性や歴史, 文化は, 私たちの生活の舞台であるとともに, (③) であり, 将来に向けて継承・発展させる必要がある。

語群 ①亜熱帯海洋性 ②自然環境 ③心の拠り所

(7) 次の文は, 「平成 31~34 年度学校教育の指導の努力点」(沖縄県教育委員会) の一部である。文中 4 ~ 6 に語句をそれぞれ下記の語群から一つ選び, 番号で答えなさい。

県民の生活や文化の向上を図るためには, 幼児児童生徒一人一人が地域の自然を愛し, 歴史や文化を大切にすることを育み, 世界遺産に登録されている「(④) 及び関連遺産群」やユネスコ無形文化遺産である「(⑤)」をはじめ, 先人が築いてきた歴史や優れた文化に誇りを抱くようになることが必要である。そして, 自分の住んでいる地域の発展に貢献し (⑥) で活躍する人材の育成に努める必要がある。

語群 ④琉球王国のグスク ⑤組踊 ⑥グローバルな視野

4 ① 琉球弧のグスク ② 琉球王国のグスク ③ 琉球王朝のグスク

④ 南西諸島の城 ⑤ 古琉球王国のグスク

5 ① 琉球料理 ② 琉球舞踊 ③ エイサー ④ 組踊 ⑤ 空手

- 6 ① グローバルな視野 ② グローバルの精神 ③ 地球規模の視野
④ ウチナースピリッツ ⑤ 世界的な視野

このため、学校においては、地域の自然や歴史、文化に係る（ ⑦ ）を積極的に教材化し、体験活動や（ ⑧ ）など、多様な活動の促進により、（ ③ ）である地域への（ ⑨ ）やそれらを基盤に他の文化を受容するなど、個性豊かで創造性に富んだ学習活動を推進する必要がある。 語群 ⑦地域素材 ⑧体験的な学習 ⑨愛着心

教育の目標

県は、（ ① ）を基本とし、国及び郷土の自然と文化に誇りをもち、創造性・（ ② ）に富む人材の育成と（ ③ ）の振興を期して、次のことを目標に教育施策を推進する。 語群 ①個性の尊重 ②国際性 ③生涯学習

自ら（ ④ ）を育て、（ ⑤ ）を目指すとともに、豊かな（ ⑥ ）とねばり強さをもつ幼児児童生徒を育成する。 語群 ④学ぶ意欲 ⑤学力の向上 ⑥表現力

平和で安らぎと（ ⑦ ）の形成者として、（ ⑧ ）の継承・発展に寄与し、国際社会・（ ⑨ ）等で活躍する心身ともに健全な県民を育成する。 語群 ⑦活力ある社会 ⑧郷土文化 ⑨情報社会

学校・家庭・地域社会の相互の（ ⑩ ）のもとに、時代の変化に対応し得る（ ⑪ ）を追究し、（ ⑫ ）の実現を図る。 語群 ⑩連携及び協力 ⑪教育の方法 ⑫生涯学習社会

(8) 次の文は、「平成 31～34 年度学校教育の指導の努力点」(沖縄県教育委員会)の一部である。文中 ⑫～⑭ に語句をそれぞれ下記の語群から一つ選び番号で答えなさい。

幅広い教養と（ ⑫ ）を培うとともに、高い公共性・（ ⑬ ）を保持しつつ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく（ ⑭ ）を有する人材を育成する。 語群 ⑫専門的能力 ⑬倫理性 ⑭資質

- ⑫ ① 専門性 ② 専門的能力 ③ 創造力 ④ 創造力 ⑤ リーダーシップ

- ⑬ ① 倫理性 ② 論理性 ③ 普遍性 ④ 地域性 ⑤ 卓越性

- ⑭ ① 精神 ② 使命感 ③ 資質能力 ④ 能力 ⑤ 資質

Ⅲ 2030年以降の社会を展望した教育政策の重点事項

第2期計画の「自立」「協働」「創造」の方向性を継承し、以下の姿を目指す

《個人と社会の目指すべき姿》

(個人) 自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら
新たな価値を創造する人材の育成

(社会) 一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現、
社会(地域・国・世界)の持続的な成長・発展

《教育政策の重点事項》

○「超スマート社会(Society 5.0)」の実現に向けた技術革新が進展するなか
「人生100年時代」を豊かに生きていくためには、「人づくり革命」、「生産性
革命」の一環として、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力向上が必要

○教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化
することを今後の教育政策の中心に据えて取り組む

Ⅳ 今後の教育政策に 関する基本的な方針

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する | 4 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する |
| 2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する | |
| 3 生涯学び、活躍できる環境を整える | 5 教育政策推進のための基盤を整備する |

Ⅲ 2030年以降の社会を展望した教育政策の重点事項

第2期計画の「自立」「(1)」「創造」の方向性を継承し、以下の姿を目指す

《個人と社会の目指すべき姿》

(個人) 自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と(2)しながら
新たな価値を創造する人材の育成

(社会) 一人一人が(3)し、豊かで安心して暮らせる社会の実現、
社会(地域・国・世界)の(4)な成長・発展

語群：1 協働 2 協働 3 活躍 4 持続的

《教育政策の重点事項》

- 「超スマート社会 (Society5.0)」の実現に向けた技術革新が進展するなか「人生100年時代」を豊かに生きていくためには、「(5) 革命」、「生産性革命」の一環として、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力向上が必要

- 教育を通じて生涯にわたる一人一人の「(6)」と「チャンス」を最大化することを今後の教育政策の中心に据えて取り組む 語群：5人づくり 6可能性

問題 次の文は、「計画期間：2018～2022年度 第3期教育振興基本計画（概要）」（文部科学省）の一部である。文中7～10に語句をそれぞれ下記の語群から一つ選び、番号で答えなさい。

IV 今後の教育政策に関する基本的な方針

- 1 夢と志を持ち、(7)に挑戦するために必要となる力を育成する
- 2 社会の(8)な発展を牽引するための多様な力を育成する
- 3 生涯学び、(9)できる環境を整える
- 4 誰もが社会の担い手となるための(10)のセーフティネットを構築する
- 5 教育政策推進のための基盤を整備する

語群：7可能性 8持続的 9活躍 10学び

7 ① 目標 ② 夢実現 ③ 自己実現 ④ 未来 ⑤ 可能性

8 ① 安定的 ② 持続的 ③ 継続的 ④ 平和的 ⑤ 未来的

9 ① 活躍 ② 共存 ③ 交流 ④ 協働 ⑤ 学習

10 ① 共存 ② 共生 ③ 学び ④ 平和 ⑤ 未来

「学校教育における指導の努力点」の体系

